



# 蔵王町 観光振興基本計画

## 第二次

### 概要版



発行 平成 30 年 3 月  
編集 蔵王町 農林観光課  
〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北 10  
電話 : 0224-33-2215  
E-mail : kanko@town.zao.miyagi.jp  
HP : <http://www.town.zao.miyagi.jp/kankou/>

平成30年3月



# 蔵王町観光振興基本計画【概要版】

## 計画策定にあたって

### 計画策定の趣旨

本町の観光振興を向上させていくため、人と人とのつながりを通じて蔵王町の住民が光り輝き、域外の人々から憧れられるような魅力的な地域づくりと、多様な観光資源それぞれの特性に十分配慮した一層の磨き上げを進め、広域的な取り組みや戦略的な情報発信を行い、県内外及び外国人観光客を受け入れる、より一層の施策が必要になる。

今後、観光振興の考え方やそれぞれの役割を踏まえた施策・方向性について、関係機関や住民が一体となり、交流人口の拡大と観光による地域経済の活性化を目指すことを目的として、本観光振興基本計画を策定する。

### 計画の位置づけと構成

- 第五次蔵王町長期総合計画の「観光部門計画」としての位置付け。
- 「基本方針」と「基本計画」とで構成されており、基本方針では現状を踏まえ、将来を展望しつつ、本町の観光振興の理念とその実現に向けた方針を定める。
- 基本計画では、基本方針に基づき、観光客入込数等の数値目標を定め、その実現に必要な主要施策の方向と内容を明らかにする。

### 計画の期間

平成30年度から平成39年度までの10年間



## 計画策定にあたって

### 計画策定の趣旨

町民一人ひとりが、町の住民であることに誇りと愛着を持って、蔵王町の観光振興の主役となり、観光客をもてなす「人に優しい、自然に優しいまち」を町民一丸となってつくり上げていく必要がある。

観光は、他産業への経済波及効果が非常に大きい総合産業であり、農林業、商業等との有機的な結びつきを一層強め、地域の「稼ぐ力」や「地域価値」の向上を図り、「密度の経済」を実現するため、国内観光客、さらには外国人観光客の誘客に取組み、交流人口の拡大及び地域経済の発展を目指していくため、観光振興の基本理念を定める。

町民一人ひとりが主役となり、町に誇りと愛着を持って観光客をもてなす、世界に名立たる「蔵王」の観光振興まちづくり

### 目標像

- ① 蔵王高原の自然に包まれながら時を忘れ、気がつけば、私のふるさとみやぎ蔵王
- ② いつ来ても、何度来ても変わらぬ自然と人の笑顔、やっぱりここが蔵王町
- ③ 町民一人ひとりが活気に溢れ、すべての産業がつながり発展する、いきいきと輝く蔵王町

### 目標値

観光客入込数	H28：166万人	→	H34：210万人
宿泊観光客数	H28：33万人泊	→	H34：40万人泊
外国人宿泊客数	H28：5,000人泊	→	H34：10,000人泊
目標を達成した場合の経済波及効果	H28：26.1億円	→	H34：32.0億円
蔵王町への経済効果	H28：96.4億円	→	H34：118.6億円

## 蔵王町の観光の現状と特性

### 1 観光の現状と取り巻く社会情勢の変化

- 人口構造の変化による観光需要の量や質、観光業の人材確保への影響（蔵王町の人口はH2→H42で26%減）
- 目的性の高い観光や体験型観光、小グループ化など観光の嗜好や形態の多様化（個人旅行がH17→H27で10%増）
- インパウンドの拡大（国では訪日外国人旅行者数を2,030年までに6,000万人を目標）
- 観光情報・手続きにおけるICTの普及
- 東日本大震災からの復興

### 2 蔵王町の観光の現状

#### 2-1 蔵王町の観光入込の特性

- (1) 観光入込数・宿泊客数
  - ここ20年で観光客は2割、宿泊客は約3割減少。
  - 一部の宿泊施設では、顧客ニーズの変化（団体→個人等）に対応できず、宿泊客が減少し、経営が悪化。
- (2) 観光客の居住地
  - 関東、県内からの観光客が多い傾向。
- (3) 蔵王町の認知度
  - 東北以外では蔵王町の認知度が低いことが課題。
- (4) 蔵王町への来訪機会
  - 首都圏、中部圏、関西圏、九州・沖縄のリピーターが少ない状況。
- (5) 観光客の消費額
  - 国内観光客より外国人観光客の消費額が多い。
- (6) 観光客の消費額
  - 「温泉地」「スキー場がある」とのイメージが強い。
- (7) 外国人宿泊客
  - 平成23年の東日本大震災の低迷から順調に回復。
  - 仙南地域の約5割を占めるが、伸び悩んでいる。

#### 2-2 蔵王町の観光資源・施設

- (1) 観光資源・レクリエーション施設
  - 本町には自然資源や歴史資源、レジャー施設、さらに高原野菜や果樹、蔵王チーズなどの食材に加え、遠刈田温泉など優れた観光資源が豊富。
- (2) 宿泊施設
  - リゾート志向やアットホーム志向等、多様なニーズに対応可能な施設はそろっているが、近年、宿泊客は低迷。
- (3) 交通資源
  - 高速バス、路線バスはあるが本数が少なく、地域内を回る公共交通が不足。
  - タクシー、レンタカー、レンタルサイクル等の活用も進まない状況。
- (4) 観光地の評価
  - 蔵王町内の観光施設では「御釜」や「遠刈田温泉」の評価が高い。



## 蔵王町の観光の現状と特性

### 1 蔵王町のブランド化とPR

- 蔵王町は仙南地域の観光客入込数の3割、宿泊客数の7割を占め、広域の誘客力を有する蔵王連峰の御釜や遠刈田温泉が広域観光を實質的に牽引。
- 一方、一般には「蔵王＝山形蔵王」のイメージが強く、山形側は「蔵王温泉」として毎年、多くの観光客を誘客。
- 観光地のブランド力向上と蔵王の特産品（水、果物、牛乳、牛肉、蔵王爽清牛、豚肉、鶏卵、野菜等）を活用した食の開発が必要。

### 2 宿泊の魅力向上と滞在性が高い観光メニューの提供

- 蔵王町は、仙台市や福島市、山形市などからのアクセス性が良く、日帰り観光が可能な位置にあり、宿泊は夜の魅力の高い仙台市や飯坂温泉、蔵王温泉や上山温泉など周辺の温泉宿泊観光地に泊まる観光客もいると考えられる。
- 宿泊施設や観光施設の顧客ニーズに対応した魅力向上と滞在性の高い観光メニューの提供が必要。

### 3 地域内の周遊を促す情報や公共交通ネットワークの整備

- インターネット等による観光情報の提供は個々の観光地で別々に行われており、一体的な情報収集が困難。
- 蔵王町は仙台空港、東北新幹線白石蔵王駅、東北道村田IC及び白石ICが周辺にあり、レンタカー利用によるアクセス性は良いが、公共交通を利用した町内の観光施設の周遊は困難。
- 個人観光客や外国人観光客が活発かつ円滑に周遊するため、ICTを活用した一体的な情報提供や観光サインの整備、利用しやすい交通ネットワークの構築が必要。

### 4 訪日外国人旅行者へのプロモーションと受入環境整備

- 白石市の宮城蔵王キツネ村は県内でも外国人旅行者に人気の観光施設であり、プロモーションやSNSによる情報の効果が大い。
- 今後は、外国人旅行者の誘客を促進するための、蔵王町の魅力・特性を生かした多彩な観光メニューの造成とプロモーション活動を強化しつつ、案内看板や表示物の多言語化や交通手段の確保など、外国人観光客の受入環境整備が必要。

### 5 仙南地域及び近隣市町との連携による広域観光の推進

- テーマや季節、イベントなど、仙南地域や近隣市町の観光地と連携することにより観光誘客の促進を図ることが必要。

### 6 観光振興をリードする人材の育成

- 観光地や宿泊施設を客観的に評価し、県外・国外へと売り出していくためには、戦略的な観光地づくりや観光事業の展開を担う人材の育成が必要。
- 観光従事者や住民が地域全体の特性や魅力を学ぶ機会が必要。

## 観光の基本方針

### 基本方針1 知名度を生かした観光まちづくりの強化

#### 取組1 地域資源の再発見と新たな魅力づくり

- ① 観光資源の掘り起こしを行い、さらに磨き上げて活用を図る。
- ② 体験型観光をさらに推進するため、蔵王の知名度と魅力を生かした個性ある旅行商品の開発や新たなイベントの企画を行う。
- ③ 「温泉による健康づくり」と「星空の綺麗な町」をテーマとした魅力づくりを創出し、宿泊滞在型メニューの開発を進める。
- ④ 蔵王の豊富な食材を生かした新たなイベントの企画を行う。
- ⑤ 環境の美化や散策路の整備、商店の魅力づくり等を図り、歩いて楽しい「温泉街」づくりを進める。

#### 取組2 通年観光強化と滞在型リゾートの促進

- ① スキー場におけるグリーンシーズンの魅力アップを図るため、春から秋にかけてイベントの実施や周辺観光施設等との周遊商品造成等を促し、通年型観光を強化する。
- ② スノーリゾートと連携した地域活性化企画の充実強化を図り、滞在型リゾートを目指す。

#### 取組3 観光と農林業、地場産業との連携

- ① 農林業、工業、サービス業と連携し、地域資源を組み合わせた新たな観光商品づくりを進める。
- ② 農畜産物や物産品等を町内外で販売する機会を創出し、地場産業の育成を図る。
- ③ 農畜産物を活用した新たな名物料理を開発し、宿泊施設や飲食店等と連携した販売・取引の促進を図る。

#### 取組4 観光振興のための景観形成と保全

- ① 自然環境や農村景観を生かした観光の振興を図るため、景観の保全に関する施策を検討する。
- ② 桜、もみじ、芝草等の植栽により、20年、30年後の名所づくりを進める。

### 基本方針3 戦略的な観光情報の発信

#### 取組1 積極的な観光宣伝・PR・情報発信

- ① SNSやYouTubeを活用した動画配信など、効果的な観光宣伝方法を検討し、国内外に向けた情報発信に努める。
- ② 観光PRキャラクター等を活用し、国内外へ蔵王ブランドのPR推進を図る。
- ③ サポーター制度の創設等により、蔵王町のファンづくりとイメージアップを図る。

#### 取組2 教育旅行の積極的誘致

- ① 新幹線利用による広域エリアからの教育旅行の積極的誘致を図る。

#### 取組3 インパウンド(訪日外国人旅行者)の誘致促進

- ① 宿泊施設及び観光関連施設等と一体となったインパウンドの誘致を図る。
- ② 町の魅力を伝える多言語パンフレット及びホームページ案内等の整備充実を図る。
- ③ 海外現地での旅行博や商談会に参加し、蔵王町への誘客を促進する。

### 基本方針2 受入れ体制の整備

#### 取組1 観光施設等の整備

- ① 登山道、遊歩道等観光施設の維持管理及び整備促進を図る。
- ② 最寄りインターから遠刈田温泉までの多言語に対応した誘導案内標識等の整備充実を図る。
- ③ 宿泊施設や観光施設におけるピクトグラム（絵文字）表示を活用した多言語案内標識等の整備促進を図る。

#### 取組2 地域公共交通と連携した域内周遊交通ネットワークの整備

- ① 地域公共交通計画と連携した域内二次交通の整備を検討する。
- ② 観光タクシーやレンタルサイクルを活用した地域内移動手段の充実を図る。

#### 取組3 広域連携・広域観光の推進

- ① 宮城インパウンドDMOや仙台市、山形市等の周辺市町と相互連携した広域周遊観光ルートの整備を図る。
- ② 国営みちのく杜の湖畔公園や周辺観光地との連携を図る。

#### 取組4 人に優しい安全・安心な観光地の整備

- ① みやぎ蔵王こけし館等観光施設利用者が安全に利用できるよう施設の整備点検を行う。
- ② 蔵王山火山噴火等有事の際に備え、関係機関と連携し、観光客等の避難誘導等訓練を実施する。

#### 取組5 観光ガイドの育成

- ① 生涯学習分野及び国際交流団体等との連携により、町内人材の活用と観光ガイドの育成を図る。
- ② 地元向けのまちなか歩きイベントを開催し、町内観光資源への関心を促すことにより、観光ガイドの育成及び町民のおもてなし意識の高揚を図る。

#### 取組6 町民によるおもてなし意識の醸成

- ① おもてなしマニュアル等を作成し、町民全体の接客対応向上とおもてなしの心の醸成を図る。
- ② おもてなし研修会や座談会の開催により、町民全体の意識改革及びおもてなしスキルアップを図る。

#### 取組7 インパウンド(訪日外国人観光客)受入れ体制の整備

- ① インパウンドおもてなし研修会等の開催により、外国人が安心して訪れることのできる受入れ体制の整備を図る。
- ② 翻訳タブレットや指差しツール等を導入し、外国語での案内に対応できる体制整備を図る。

### 基本方針4 観光振興推進体制の整備

#### 取組1 観光振興推進組織の整備・強化

- ① 観光物産協会等、観光に携わる各種団体の指導・育成を図る。
- ② 入湯税等を財源として、観光物産協会活動の充実強化に向けた支援を行う。
- ③ 観光物産協会への観光案内所の委託を行い、観光情報の発信及び来訪者等への適切な案内に努める。

#### 取組2 観光事業者間の連携強化

- ① 総合的な「観光商品」づくりを推進するため、関係事業者間の横断的な連携を図る。
- ② 旅館組合との連携を図り、遠刈田温泉のブランド価値向上に向けて活動を支援する。
- ③ 観光イベントを行う団体との連携を図り、相乗効果が上がるように活動を支援する。

#### 取組3 観光統計の整備

- ① 実態基礎データの収集、分析を行い、観光施策への活用を図る。
- ② ビッグデータの活用と分析を行い、ターゲットを明確にした観光施策を進める。

